

クジラの飲み水 (p. 10~17)

◆ 語句 ◆

意味

環境…そこで生活する人や生物に、たえずはたらきかけて、その

性格や資質を形作るものとしての、外界の状態。

排泄…動物が食物から栄養をとって、残りのいらなくなったもの

のを大小便として、体の外に出すこと。

適応…生物の形態や習性などが、すみ環境にに応じて変わること。

いやす…病気やけが、心に受けた痛手などの、苦痛をなおす。

蓄える…金銭や品物を、あとで役立たせるためにためておく。力

や知識を増やしていく。

分解する…化合物を、それを構成している物質に分ける。

属する…集団・組織・範囲の中に入っている。

含む…あるものの中に、別のものも入っている。

余分…必要な分量をこえた、あまり。

短文

いったい

例 弟は、いったいどこへ行ったのだろう。

類義語・対義語

乏しい ↓ 例 豊か、豊富

危険 ↓ 安全

貴重 || 例 大事

◆ 読解 ◆

ステップ1

1 A ⑤ B ⑥ C ⑫ D ⑬

2 ① 飲み水 ② 海水 ③ 食べ物 ④ 飲み水

⑤ 体内

ステップ2

〔序論〕

1 ① 塊 ② 飲み水

2 飲み物や食べ物

3 ① 体液 ② 塩分

4 それでは、いったいクジラはどのようにして飲み水を得ているのであろうか。

〔本論〕

1 ① ○ ② × ③ × ④ ×

2 海水を飲んで喉の渇きをいやすことはできない

3 ① 動物プランクトン ② 魚介類 ③ 八〇

4 エ

5 例 食べ物を口の中や喉で絞って、海水は吐き出し、食べ物だけを胃に送っている。

6 ① 脂肪 ② 脂肪 ③ 分解 ④ 水

7 ① 35パーセント ② きわめて少ない。

③ 2パーセント ④ 全くない。

⑤ 63パーセント ⑥ ほとんどを占める。

【結論】

◆ 例・「飲み水」としての水は飲まない。

・ 必要な水を自分の体内で作る。

・ 水分をできるだけ失わないように暮らしている。

※ 順不同可。

ステップ3

1 ① ア ② イ ③ ウ ④ オ ⑤ エ

2 ① エ ② ア

「問い」と「答え」を確かめよう



説明文を読むときは、「序論」の中にある「問い」と、「結論」の中にある「答え」の対応をしっかり確認しよう。

「問い」と「答え」を確認することで、その文章が何を明らかにするために書かれたものか捉え（とら）えることができるよ。